

3 原発、破碎帯調査が必要

甲第 216 号証

原発の破碎帯・断層の調査

原発名 (道県)	敷地内の 破碎帯・ 断層の有無	原子炉直下の 破碎帯・ 断層の有無	対応
泊 (北海道)	○	○	3
東通 (青森)	○	○	1
女川 (宮城)	○	○	3
福島第1	○	×	3
福島第2	×	×	3
東海第2 (茨城)	×	×	3
柏崎刈羽 (新潟)	○	○	3
浜岡 (静岡)	○	×	3
志賀 (石川)	○	○	3
敦賀 (福井)	○	○	1
もんじゅ (福井)	○	○	2
美浜 (福井)	○	○	2
大飯 (福井)	○	○	3
高浜 (福井)	○	○	2
島根 (島根)	○	○	3
伊方 (愛媛)	○	○	3
玄海 (佐賀)	○	○	3
川内 (鹿児島)	○	×	3

1...すでに追加調査指示
2...追加調査が必要
3...情報収集に努める

破碎帯あり ○ 破碎帯なし ×

◆保安院方針

経済産業省原子力安全・保安院は3日、関西電力の美浜、高浜両原発と日本原子力研究開発機構の高速増殖炉もんじゅ（いずれも福井県）について、敷地内を走る破碎帯と呼ばれる軟弱な断層の「追加調査が必要」などとする全国18原発の破碎帯や断層の調査方針をまとめた。同日の専門家会議で示した。

もんじゅ、美浜、高浜

この日示した方針は「既に追加調査指示」追加調査が必要「情報収集に努めるべきだ」の3段階。運転を再開した関電大飯原発（福井県）など13原発は「情報収集に努めるべきだ」とした。また、この日の会議では大飯原発内の破碎帯がずれる可能性について審議する予定だったが、関電が増設工事の前に撮影した破碎帯の写真を見つけないことができず、今回の会議は持ち越した。